

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 水2/水4/水5 /木2/木4	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	ドイツ語 German		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	水2:T21B~22A, 水4:P18, 水5:Ld~f, 木2:D16・17, 木4:K25	科目分類 外国語科目(ドイツ語)	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	担当教員:岡本 治 / Eメールアドレス:osamu-o@net.nagasaki-u.ac.jp /研究室:教育学部 5階 532号室 /オフィスアワー:水 12:30~14:30 教員研究室にて		
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい: 「独検」4級レベルのドイツ語のリーディングを目標に、毎回簡単な文例の和訳と文法の練習問題を行う。 その際、必ず全員に問題をあて、発表してもらうこととする。</p> <p>授業方法: 板書、添削、発音、暗唱、朗読、等々。</p> <p>授業到達目標: 「独検」4級レベル。辞書が引けること。発音ができること。初級文法を理解すること。</p>			
<p>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要) ドイツ語の初級文法を動詞(中でも、そのワク構造)を中心に体系的に学びながら、各章巻末に設けられた「読物」を読む。 練習問題は、プリントで補う。</p> <p>第1回 オリエンテーション 第2回 名詞には性がある。 第3回 動詞は主語によって語尾が変わる。動詞は2番目に置く。 第4回 名詞には格がある。 第5回 一番重要な動詞 sein と haben 第6回 副文の動詞は文末に置く。 第7回 dieser と mein は冠詞のように変化する。名詞の複数形は一見不規則。 第8回 ちょっと不規則な現在形。 第9回 形容詞も名詞の前では変化する。前置詞は一定の格と結びつく。 第10回 「より…」 「最も…」の表し方。分離する動詞がある。 第11回 再帰代名詞 Sich はなぜ必要か。3基本形を覚えよう。 第12回 助動詞構文もワク構造。完了の助動詞は haben か sein か。 第13回 受動は、werden + 過去分詞。関係代名詞の見分け方。 第14回 接続法は英語の仮定法。 第15回 定期試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書:大岩信太郎著「入門ドイツ語の最初歩」(三修社) プリント資料(毎回2枚程度)		
成績評価の方法・基準等	定期試験 (50%) 授業への積極的な参加状況、演習 (50%) 等を総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			